

1. 件名：「新規制基準適合性審査に関する審査会合への対応について(大飯発電所3, 4号機、美浜発電所3号機及び高浜発電所1, 2, 3, 4号機)」

2. 日時：令和4年7月5日(火) 17時10分～17時30分

3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室(一部TV会議システムを利用)

4. 出席者(※・・TV会議システムによる出席)

原子力規制庁：

(新基準適合性審査チーム)

関企画調査官、奥企画調査官、鈴木主任安全審査官※、西内安全審査官、大塚安全審査官、畠山安全審査官※、岩野審査チーム員

原子力規制企画課 火災対策室

齋藤火災対策室長、山下係長※

関西電力株式会社：

原子力事業本部 原子力発電部門 保全計画グループ マネジャー※ 他
9名(9名のうち、5名はTV会議システムにより出席)

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：なし

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子力規制庁の岩野です。それでは、大井は、本日、審査会合を実施しました、大飯発電所第 34 号機火災感知器増設に係る設計及び工事計画認可申請。
0:00:13	これが議題の一つ目です。それから議題の二つ目の、
0:00:19	美浜 3 号機、高浜 1234 号機の火災感知器増設に係る設計及び工事計画認可先生。
0:00:26	この二つの基と二つの議題についてのラップを始めたいと思い
0:00:32	とまず初めに、議題の議題の一つ目の大井さん 4 の、
0:00:36	議題の方について関西電力の方から、本日の審査会合を受けて受けての、
0:00:43	受けとめであったりだとか、考えであったりだとかを、説明をしてください。
0:00:52	あ、関西電力の小森でございます。本日はどうもありがとうございました。
0:00:58	大井に関しましては一通りの説明をさせていただいて、それで、きちんと資料に反映して補正するよというふうな
0:01:11	ことで占められたかと思っております。我々としてもですね、今までの資料に関してもれなく確実に反映して、補正資料に反映してい参りたいというふうに考えてございます。
0:01:24	その上でまたちょっと基本設計方針に関しての書き方をある程度充実する必要があるかなと思っております、
0:01:37	それをするために、何ていうか、フローで整理するという形での、
0:01:46	進め方。
0:01:48	ダウンが必要。
0:01:50	という理解。
0:01:52	んなんですけれども、
0:01:58	すいません規制庁の岩野SE今のはあの審査会合のを踏まえてということでしょうか。すいません。審査会合としては
0:02:07	すいませんちょっと発言が、
0:02:10	Bの言葉で言ってみましたけど、
0:02:12	審査会合としては、きちんとこれまでの内容を踏まえた資料反映をしていくというふうな認識でございます以上です。
0:02:24	はい。原子炉規制庁の矢野です。そうしますと、江藤大井 34 号機については他に何かございますでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:33	確認、特に今回の審査会合ですね、コメント等は特になかったものと理解しております。
0:02:41	よろしいでしょうか。はい。
0:02:43	では、すみません続きまして高浜さん、渥美浜さんと、高浜 1234、こちらについて、お願いします。
0:02:58	はい。関西電力吉田でございます。後続の深山さんの高浜 1 から 4 号につきましては、本日の説明では大井との差異、これを中心に説明、
0:03:11	したんですけども、大飯と同様の設計プロセスで、各エリアきちっと設計してますんで、今後、ヒアリングを通して、それぞれのエリアの設計について、具体的に説明させていただきたい。
0:03:25	と思っております。その上で、今日論点として挙げられました合流ダクトの設計について、感知性であるとか、
0:03:37	発表した時の対応、これを今後詳細に説明させていただこうというふうに考えております。以上です。
0:03:58	規制庁大塚です。
0:04:00	今日私の方から指摘させていただいた、個別ダクトに感知器を受けない理由についてなんですけども、
0:04:09	資料の方に今日のパワーポイントに垂直ダクトのため置けないという説明あったんですけど、
0:04:15	口頭でご説明のあった、スペースがないというところはちょっと記載が見当たらなかったんで、そこはちょっと資料の方に落としていただきたい。
0:04:24	能登、あと今日の資料にはないんですけども、補足説明資料の方に、
0:04:29	ダクト図が載ってまして、
0:04:32	個別ダクトの位置はわかるんですけど、その資料からはちょっとどこが垂直で、どこにスペースがないのかっていうのが読み取れませんので、
0:04:42	その辺の詳細をですね補足説明資料のほうに追記していただいて、ご提出ください。
0:04:50	はい。関西電力吉澤でございます承知しました。
0:04:55	あともう一つの火災への特定と、
0:05:01	消火方法については、
0:05:03	今回複数のエリアの官庁 1 ヶ所で行って、
0:05:09	行うということで、火災下の特定が、普通の箇所に難しく、
0:05:14	なるということと、
0:05:16	あと消火方法については、
0:05:18	自動消火であれば、火災が発生しない部屋まで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:22	消火するのかわかっていう話もありますので、
0:05:25	関西電力としての、その辺の毒化再現特定と、消火不消化方法の考え方についてはよく整理して、こちらについても、附属説明資料の方に、
0:05:36	落とし込んで提出をお願いします。
0:05:40	はい。関西電力吉澤でございます承知しました。
0:05:48	はい。原子炉規制庁の岩野です。二つの議題について、最後ですけども、
0:05:55	はい。
0:06:01	議題の二つ目についてなんですけど規制庁西内です。
0:06:05	具体的に今後どういう順番で説明されるんですけど。
0:06:11	会合の中でも説明あったように大飯の審査結果を踏まえて反映が必要で今後ちゃんと説明しなきゃいけないねという部分と、あとはオオツカが会合でも指摘した、個別設計が多いと異なる部分の設計があると思うんですけど、
0:06:23	同時並行的に進めるのか、少なくとも前者の大井の話については大城の方がまとまらないと、あまりちょっと進捗しない部分もあるのかなと思うので、審査の効率化って意味でもどういうふうにもた進めたいと考えているのかその部分の具体的な話は、
0:06:39	お聞きできればと思うんですけど。
0:06:44	はい。規制庁の関ですけども
0:06:48	私それもあるんですけども、
0:06:54	ちょっと関西電力のリソース的に、まずは、
0:06:58	大飯の 345 認可に持っていくのかわかっていうのがもう普通であれば、認可日まで行くところに持っていくのかわかっていうのが
0:07:08	普通の考え方だと思うんですけども、ちょっとそれも踏まえてちょっと何が並行してできるのか、どういう工程でちょっと進めていくのかわかっていうのは、
0:07:20	ちょっとよくよく整理をして、
0:07:23	おきたいなと思ってまして、
0:07:27	ちょっとその考え方をまずちょっと語ってもらって、ちょっと語る上でちょっとその考えも込みでちょっと語っていただけるとありがたいなと思いますよろしいでしょうか。
0:07:37	はい。
0:07:39	桃井です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:40	ちょっと今日のお話をいただく前の段階のお話をまずちょっとさしてもらって、その上でちょっと今日の日審査会合でのコメントを踏まえてちょっと
0:07:53	ちょっと私の考えを述べるという立て付けでちょっと説明したいと思います。
0:07:58	やはり大飯の 34 号を速やかに補正して認可いただくというのがまず大事だと思っておりますこれが結局後続にも繋がりますし、他電力にも繋がりますので、
0:08:10	そうしますと、まずう補正するために基本設計方針の方のちょっと記載充実をある程度図らなきゃいけないかなというふうに思っております、
0:08:23	そのイメージを固めるために、
0:08:28	そうですねまずちょっとドラフトなのかちょっと整理したフローなのか、D や、
0:08:37	た形で 1 回ヒアリングをかまさせていただきます、
0:08:43	その内容で補正を出させていただきますと。
0:08:46	それをちょっと私の頭の中でイメージすると、7 月の下旬にどうしてもなっちゃうかなというふうに思っております。
0:08:54	ヒアリング、
0:08:56	7 月の多分中旬になると思うんですけども 1 回設定させていただきますのであれば、そのタイミングで、後続の排気ダクトの部分、ここだけは、
0:09:07	ちょっとまず、我々の考え方を示させていただきます、ちょっとちょっと切り出しになってしまうんですけども、
0:09:14	させていただきますと。
0:09:17	そのあとは、まず補正に注力させていただきますと出します。
0:09:24	で、来月とかを目標 2、認可を目指すというのが我々の考えです。
0:09:32	そうした上で、後続空気というのを審査をするんですけども、ここやり方二つあると思っております、
0:09:42	一つは、大井の認可を受けて、きちんと補正をした上で、
0:09:52	ヒアリングに臨むというやり方にするのか。
0:09:56	それともう補正はもう全部まとめてでいいよと、ちゃんと一通り補正内容にはなっていないんだけども硫黄の反映を含めた、
0:10:08	我々の考え方をもう一度整理した上で、全体をご説明する個別の類型化するんで、個別のご説明をするとした上で、
0:10:20	最後の方に補正をドンとさせていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:23	二つのやり方あると思いますんで、我々の希望としては後者の方が効率的だとは思ってるんですけども、それがちょっと許容されるのかどうなのかというのはちょっとご相談かなというふうに思っていました。はい。
0:10:38	規制庁の関です。まず、大井オク先についてというのは理解、私も同じです。ぜひそれで進めてください。
0:10:48	笹井。
0:10:49	ちょっとフローズっていうのがどこまでいるのかなってのはあるんですけど比木をセキ法人だから要件はきちんと書いてもらうっていうことと、
0:10:58	ちょっとこの先私あんまり保守、成果保障ができる立場じゃなくなるんで、
0:11:09	ちょっと、ちょっと具体の発言ちょっと控えますけれども、とは言っても、
0:11:16	基本設計方針はやはり約束事がきちんと書かれているっていうことが重要だと思うんですよフローもそうなんだけど、
0:11:26	やっぱり約束事が何だったのかっていうのをやっぱりしっかり書き出してもらって、
0:11:31	運用要件をきちんと書いてもらうっていうのが大事だと思いますんでそれーそういう観点でちょっとお願いしたいと思います。あとちょっと他の細かいところはイワノから多分お話がそれぞれ行くと思いますんで、
0:11:42	その中でちょっと検討の方をしていただきたいというところでちょっとこの場ではこういう回答をさせていただきます。
0:11:49	それからー
0:11:52	もう、
0:11:56	大井参与の認可にあたっては、私からお願いしたいのはとにかく
0:12:02	この議論で終わった、審査会合を今日終わったねっていう形になったんでやっぱり雰囲気、忘れない期間のうちにですねやはり全部まとめ切っていたらいい認可日まで持っていけるというスケジュールを、
0:12:18	今のラインでいけば当然乗ると思いますけれども、しっかりちょっと工程管理の方していただきたいと思います。
0:12:28	ちょっとこれの別件になりますけどやっぱりSSP委員会、4月に閉じているのにちょっとズルーって言っちゃってまた審査会合が3ヶ月経っちゃったねっていうような、
0:12:37	感じになっちゃっているんで、次審査会合するにしてもあまり論点はないんですけども期間が経っちゃったねっていうところであるっていうようなことになってしまっているんで、
0:12:48	やっぱり

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:49	ちょっとそこはきちんとナカセでおっしゃったんだけど、ちょっとそういうことがないようにしっかり戦力も含めてですね、やるべき、投入していただいてやるべきことをちょっとやり切っていただきたいというのが、
0:13:01	私の最後の切なる思いでありますので、よろしくお願いします。
0:13:05	その上で、次の構造に関しては、ちょっと補正の議論は
0:13:16	たてつけは、いろいろ、
0:13:19	決めないでも意見もあると思いますけれども、
0:13:23	やはりちょっと3ヶ月以内に、やっぱり3ヶ月以内に次の審査会合ができる。それもある程度整理をしてこういう考え方だ。
0:13:33	ていうところをめざせるというのをまず先に、
0:13:36	中身の方からやってもらいたいなと思います。やっぱり、それもやっている間に何か3ヶ月だったって何も議論が進んでないってのは困ると思うので、
0:13:47	やっぱり3ヶ月の中で、
0:13:51	議論がある程度まとまって審査、まずは審査対応ができるっていうところを目指してもらって、かつ、
0:13:58	構成ができればハッピーだねっていうところを、
0:14:04	ちょっとまずは目指して作業の方をしていただきたいというふうに考えてます。そういう意味で私はちょっと牛、後者よりかなというふうに考えておりますけれども、ちょっとここは審査チーム長とも少し話をしないといけないところなんで、
0:14:16	一応私の考えはそういうことだということだけ述べておきます。ちょっと長くなりましたが私からは以上です。
0:14:24	関西電力小森です。ありがとうございます承知しました。
0:14:32	原子力政党の岩野です。
0:14:34	他に、何もなっケア、えっとですね。それでは、原子力、関西電力の原子力事業本部の方から、最後に何かあればお願いします。
0:14:45	はい。関西電力原子力事業本部です。特にコメント等ありません。
0:14:52	はい。ありがとうございます。それでは、
0:14:55	鈴木さんから何かありますか。
0:15:04	スズキです特にありません。はい、ありがとうございます。畠山さんから何かありますか。
0:15:14	秋山です特段ありません。
0:15:17	ございます。衛藤。
0:15:18	それでは本日のラップを終わりたいと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:21	ありがとうございました。
---------	--------------

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。